

事前評価個表

整理番号	16
------	----

地域（地区）名	たかはしがわりゅう 高梁川下流	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	にいみ 新見市ほか9市町
事業実施期間	R3年度～R7年度（5年間）	事業実施主体	市町、林業公社、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は岡山県西部に位置し、北部は中国山地を形成する1,000m前後の山が並び中南部は500～600m級の山々が連なった吉備高原山地から、瀬戸内沿岸の平野部に至るまでのなだらかな地形が続いている。</p> <p>本地区の森林面積は、地域総面積の67%に当たる165千ha（国有林：11千ha、民有林154千ha）で、県下森林面積の34%を占めている。</p> <p>本地区の民有林の資源内容は、人工林が46千ha、天然林が102千haであり、人工林率は30%と県平均の38%より低く、Ⅲ～Ⅷ齢級の林分が78%を占めている。人工林資源は流域中北部に集中しており、適切な森林施業が必要となっているが、特に生産コスト面で不利となる奥地林等での間伐の遅れが課題となっており、水源涵養機能や土砂流出機能等森林の有する公益的機能の低下が危惧されている。</p> <p>本計画に基づく事業においては、新見市ほか流域内9市町全てで策定している市町村森林整備計画と整合性を図ることを基本とし、森林経営計画策定による計画的な施業の集約化、既存路網を活用した効果的な路網整備、高性能林業機械を活用した効率的な素材生産や少花粉苗木による再造林など適切な森林施業を実施することにより、森林の有する公益的機能の持続的な発揮と高まりつつある木材供給量の増大・生産コストの低減を図ることを目指している。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：3,900ha</p> <p style="text-align: center;">人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐等</p> <p>総事業費：1,371,947千円（税抜き1,247,225千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=4.18</p> <p>（総便益（B）=12,791,807千円、総費用（C）=3,060,861千円）</p>
結果	<p>必要性：公益的機能の持続的な発揮やCLT等新たな木材需要に対応するため、間伐を中心とした効率的かつ適切な森林整備が求められており、必要性が高いと認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が認められるとともに、本事業を活用した森林整備により、施業地の集約化や生産コスト縮減が図られることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業による森林整備により、水源涵養、国土保全等の森林の有する公益的機能の持続的な発揮はもとより、木材の安定的生産が図られることから事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岡山県

地域(地区)名：高梁川下流
たかはしがわりゅう

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	2,509,647	
	流域貯水便益	803,632	
	水質浄化便益	2,894,379	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,941,974	
環境保全便益	炭素固定便益	1,674,665	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	1,967,510	
総 便 益 (B)		12,791,807	
総 費 用 (C)		3,060,861	
費用便益比	$B \div C = \frac{12,791,807}{3,060,861} = 4.18$		

森林環境保全整備事業 高梁川下流地域(岡山県)

